

短大1年のレテプ・レイハンさん

「英語スピーチコンテスト」で入賞



はならない問題でした。

「学生英語スピーチコンテスト」(主催〓東京都私立短期大学協会)が11月26日、アルカディア市ヶ谷で開催され、中国・ウイグル地区出身で短期大学1年のレテプ・レイハンさんが出場。『ベスト・デリバリー賞』を受賞しました。

少々残念な様子。

自国の大学を卒業後、新しい世界でゼロから勉強したいと考えて来日し、自ら選んだ文京学院に入学したレテプさん。「クラスメイトや先生方が、とても優しくて仲良し。みんな大好き!あと1年でTOEIC 800点以上、日本語1級、秘書検定など資格取得を目指すし、就活も頑張ります!」と、力強く話してくれました。

スピーチの内容は、中国の友人がデモの情報をネットで流し、米国のジャーナリストの取材を受けたことで、中国政府から投獄されたことについて。レテプさんにとっては、見過ごして

「一番最初にスピーチしたため、緊張する時間もなかった」と朗らかに笑う彼女。林寛美学科長はじめ何人も先生方が応援に駆けつけたことに対して、「心から感謝している。だから1位を取りたかった!」と